

平成 21 年度第 1 回自動車整備技能登録試験〔実技試験〕

第 79 回〔二級ジーゼル自動車〕

平成 22 年 1 月 17 日

# 22 問 題 用 紙

受験地		回数		種類		番号				氏名	
		7	9	2	2						

〔注意事項〕

1. 受験地、受験番号及び氏名を該当欄に記入しなさい。
2. 問題の中には解答の記入を必要としているものもあります。解答の記入は問題用紙の該当欄に記入しなさい。
3. 問題用紙の余白部分には自由にメモすることができます。
4. 試験終了後、この問題用紙を回収します。

問題 1 ここにあるエンジン単体について、次の問に答えなさい。

なお、測定は、台上にある計測機器・工具の中から適切なものを選んで行いなさい。

問 1 表のエンジンの測定項目について、冷間時におけるバルブ・クリアランスを測定し、その結果の数値を該当欄に、小数点以下第 2 位まで記入しなさい。

測定は、第 1 シリンダから始め、全シリンダについて行いなさい。

測定結果により、バルブ・クリアランスの基準値に基づいて良否判定を行い、該当するところに○印を付けなさい。

なお、エンジンの着火順序、バルブ・クリアランスの基準値及び測定結果の記入要領は、台上の留意事項に示してあります。

測定項目		測定結果	良否判定
第 1 シリンダ	I N	mm	良 ・ 否
	E X	mm	良 ・ 否
第 2 シリンダ	I N	mm	良 ・ 否
	E X	mm	良 ・ 否
第 3 シリンダ	I N	mm	良 ・ 否
	E X	mm	良 ・ 否
第 4 シリンダ	I N	mm	良 ・ 否
	E X	mm	良 ・ 否

問題 2 ここにあるオルタネータの構成部品について、次の各問に答えなさい。

なお、測定は、台上にある計測機器の中から適切なものを選んで行いなさい。

問 1 表のブラシとベアリングの点検・測定を行い、その結果を、それぞれの基準値と限度値等に基づいて良否判定を行って、該当するところに○印を付けなさい。

なお、基準値と限度値等は台上の留意事項に示してあります。

点 検・測 定 項 目		良 否 判 定
ブラシ①	長 さ 限 度	良 ・ 否
	しゅう動部の円滑 さの点検	良 ・ 否
ブラシ②	長 さ 限 度	良 ・ 否
	しゅう動部の円滑 さの点検	良 ・ 否
ベアリング(スリップ・リング側のみ)		良 ・ 否

問 2 表のロータ・コイルとステータ・コイルの点検・測定を行い、その結果を、それぞれの基準値等に基づいて良否判定を行って、該当するところに○印を付けなさい。

なお、基準値等は台上の留意事項に示してあります。

点 検・測 定 項 目		良 否 判 定
ロータ・コイル	導 通 点 検	良 ・ 否
	絶 縁 点 検	良 ・ 否
ステータ・コイル	導 通 点 検	良 ・ 否
	絶 縁 点 検	良 ・ 否

問題 3 ここにあるデュアル型ブレーキ・バルブ(ブレーキ・ペダル付き)について、次の各問に答えなさい。

なお、測定及び調整は、台上にある計測機器・工具の中から適切なものを選んで行いなさい。

問 1 表のブレーキ・ペダルの測定項目について、ブレーキ・ペダルの A と B の寸法を測定し、その結果の数値を該当欄に、小数点以下を切り捨てて記入しなさい。

また、それぞれの結果により A と B の寸法の良否判定を行い、該当するところに○印を付けなさい。

なお、A と B の寸法の基準値及び測定箇所は、台上の留意事項に示してあります。

測定項目	測定結果	良否判定
A 寸法	mm	良・否
B 寸法	mm	良・否

問 2 問 1 の測定結果から発生が考えられる車両の現象として、最も適切なものを一つ選び、解答欄に番号を記入しなさい。

- 1 ブレーキの引きずり
- 2 ブレーキの制動力不足
- 3 ブレーキ・バルブのエア漏れ
- 4 バキューム・ブザーの吹鳴
- 5 ブレーキ・ジャダ
- 6 ブレーキ・ペダルの床板との接触

解答欄	
-----	--

問 3 問 1 において、良否判定を行った結果、否(不具合)があれば基準値に調整し、遊びの量の数値を該当欄に小数点以下を切り捨てて記入しなさい。

遊 び	mm
-----	----